

羽ばたこう 明日へ

令和7年3月発行 第23号



▲【本部指導者研修会】身体のコンドিশョンを整えるためのストレッチ指導



▲【スポーツ少年団体験会】バレーボールのサーブ体験



▲【第51回酒田市・遊佐町スポ少交流大会】ニュースポーツで交流



▲【運動適性テストⅡ研修会】シャトルランなどのポイントをチェック

スポーツで酒田の子ども達を元気にしていくことは、市スポーツ少年団本部の願いです。市スポーツ少年団本部は、スポーツが大好きな子ども達をたくさん育み、スポーツを通して子ども達の健全な育成を担う組織として、ますます発展するよう努力してまいります。今後も皆様のお知恵を拝借しご協力を賜りながら、子ども達の健全育成の一翼になればと思います。引き続き市スポーツ少年団本部へのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

スポーツ少年団の理念である「一人でも多くの青少年にスポーツの歓びを提供する」「スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる」を再確認し、指導者及び保護者、行政が一緒になって今後の在り方を考えていかなければならない時期にあるかと思っています。

少子化が進む中、スポーツ少年団の活動は非常に厳しい状況下にあります。団員数の減少に伴い学区内でのチーム編成ができず、団の統合等スポーツ少年団の活動も多様化が進みつつあります。活動範囲が広がることに影響して、活動する場所が学区から遠いなどの問題も出てきているようです。



酒田市スポーツ少年団本部

本部長 齋藤 勉

本部長あいさつ

スポーツ少年団に携わる指導者と保護者の役目

サッカー専門部会長 渡部 明 広

酒田市の小学生サッカーチームは現在、11チームが活動しています。5年前は15チームでしたが、チーム数と在籍する団員が少なくなってきました。酒田市やサッカー競技だけに限らず、日本中のあらゆるスポーツ少年団が数を減らしており、減少の大きな要因として少子化と指導者不足が語られています。それだけが問題ではないと考えています。

時代の移ろいとともに子ども達を取り巻く環境が大きく変わりました。私が子どもの頃、放課後に公園やグラウンドで友達と集まり、かくれんぼや缶蹴りの他にも、野球やサッカーなどの球技を楽しむんだことを覚えています。今ではウェブコンテンツでいつでもどこでも動画を見ることができ、友達と遊ばなくとも、一人で楽しい時間を過ごすことができます。環境の変化がスポーツ離れに繋がっていることが一因ではありますが、現状を当たり前とせず、子ども達にスポーツの楽しさや大切さを教えることが、私たち指導者や保護者の役目だと考えています。

私が指導をしている松山サッカースポーツ少年団は、令和4年度に団員数が9名まで減少しました。出場メンバーが8名必要なため、試合の成立すら危うい状況でした。今後のために保護者を集め、多く出た意見が「サッカーを体験できる機会が少ない」ことでした。確かに興味のある子どもには体験に来てもらう形式を取っていましたが、初心者同士で楽しくサッカーをする場を作れていないことに気が付きました。それを機に、定期的にサッカー体験会を開き、子ども達に向けてサッカーに触れ合う機会を増やしました。



また、保護者にもメンバーの勧誘活動に積極的に参加していただきました。その結果、今年度は19名までメンバーを増やすことができ、今年度入った保護者からは「家にいるとずっとゲームしかしていないけれど、サッカーには楽しく行くので、本当に入団させて良かった」との意見もいただきました。

スポーツは勝敗が重要であり、勝つための指導をするのが指導者の役割の1つですが、子ども達にスポーツの楽しさを教え、その機会を作るのも大切な役割だと考えます。

酒田市サッカー協会では、園児サッカーや低学年サッカー大会などを開催し、地域全体でサッカーに触れる機会を提供しています。地域スポーツに携わる団体や関係者が子ども達の活動を推進するために協力し合うことで、チームの活性化につながり、より良い未来が創られると信じています。

子ども達が安心して活動するために

野球専門部会長 川村 広 道

以前は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限されていましたが、現在ではその制限も規制もなくなり以前のような活動ができるようになりました。しかし、コロナ禍を経ていろいろな事が変わっている気がします。

団員の減少、感染症・熱中症対策など、気を使うことが多くなりましたが、子どもをお預かりする以上、安全を考えることは当然のことかと思っています。

野球専門部での大会以外の活動としては、野球に触れてもらう目的でTボール大会、指導者・保護者向けの指導者講習会、審判講習集会、団員の肩・肘検診などを行っています。

Tボール大会は、野球未経験者でも簡単にできる競技で低学年向けです。また、私が指導している浜中スポーツ少年団では、団員が少ないことから「ベースボール5」を練習に取り入れています。5対5で行う競技で体育館の中でも試合ができるので、冬季練習に取り入れています。競技人口が減る中でいかに野球の楽しさを伝えることができるかが課題です。昨年初めて実施した、酒田市スポーツ少年団体験会では111名の子ども達に参加していただきました。予想以上の参加者数でしたので、今後も続けていけば、新規入団者の増加につながると考えています。

さて、現在少年野球では野球規則により各学年で、4年生以下60球、5年生以上70球と投球制限が設けられています。現状、団員の少ないチームでは大変なルールですが、子どもの怪我防止、将来を考えれば致し方ない事なのかと思っています。野球専門部ではシーズン終了後、高学



年の子どもを対象に肩・肘検診と指導者・保護者を対象に講習会を行っています。年数を重ねて成果が見えてきていると感じています。医療の進歩・保護者の理解があればこそ、子ども達の健康や安全管理が守られているように思います。

チームの編成を含めた団員の確保、インフルエンザ等の感染症に「もたれない・うつさない」対策、昨今の異常気象による熱中症対策など子ども達の安全を考えるためにも、指導者や保護者は子ども達一人一人に合った指導や対応をしなければいけないため、市スポーツ少年団本部でも毎年行われる指導者研修会で指導方法、栄養管理、子ども達との付き合い方など勉強しなければいけないと感じます。

今後も、市スポーツ少年団が団員・保護者・指導者の力でますます活性化、発展することを期待いたします。

全国大会出場までを振り返って

【出場大会】

第24回全国小学生ソフトテニス大会

令和7年3月29日～31日／千葉県

酒田Jrソフトテニススポーツ少年団

丸 藤 百 華

私は、小学1年生で初めてラケットを持ち、ソフトテニスを始めました。2年生から酒田Jrソフトテニススポーツ少年団に入団し、大会で初めて勝ったのが3年生の夏でした。そこから少しずつ勝てるようになっていき、去年の全国大会予選会では決勝トーナメントに進むことすらできず、悔しい思いをしました。そこからたくさん練習し、今年初めて最終選考会に進むことができました。



選考会当日は、ペアを組んでいる桜夢さんと力を合わせ、全国大会の切符を勝ち取ることができました。全国大会では、自分たちよりも強い選手が大勢いると思いますが、ミスを恐れずに限界まで力を振り絞り、後悔のないプレーをしたいと思っています。全力で頑張ります!!

酒田Jrソフトテニススポーツ少年団

後 藤 桜 夢

私は、小学4年生からソフトテニスを始め約2年間続けています。10月の一次予選でベスト8に入り、11月の最終予選会で3位になり、3月に千葉県白子町で行われる全国大会への出場権を手に入れました。出場が決まってからは、山形県選抜の仲間との練習が増えました。

私は、全国大会で頑張りたいことが3つあります。

1つ目は、簡単なミスをしないことです。油断しているとミスをしてしまうので、少しでもミスを減らしたいです。2つ目は、私は前衛なのでボレーやスマッシュで点を取りたいです。3つ目は、どんな時でも声を出して、ペアとコミュニケーションを取ることです。

この3つの目標を意識して全国大会では、ペアと協力して一つでも多く勝てるように頑張ります。

全国大会出場!

高い目標に向かって

【出場大会】

日清食品カップ 第40回全国小学生陸上競技交流大会

令和6年9月22日／東京都

平田陸上教室 高 井 花 恋

私は、去年初めて全国大会に出場しました。陸上には、色々な種目がありますが、私は短距離走を選びました。短距離を選んだ理由は、スタートダッシュによる瞬発力、走っている時の蹴り足、ジャンプ力、呼吸の仕方など、これからどんなスポーツにもつながると思ったからです。特に瞬発力、呼吸の仕方が陸上競技のおかげで、上手くできるようになりました。

初めて出場した国立競技場での全国大会は、とても緊張しました。自分の出番を待っている時も、ずっとどきどきしていました。でも、他の県の選手たちが話しかけてくれて、少しだけ肩の力が抜けました。

ウォーミングアップや招集場所でもわりの選手を見たら、本番直前なのにストレッチやジャンプなどで体をほぐし、自分のペースで緊張を解く方法があるように見えました。

スタートラインに立っている選手達を見ると、みんな背が高く、腕や足がとて長いことに気づきました。走る姿を見ると、腕を大きく振り、足の回転が速く、走りのフォームもきれいで力強かったです。

自分が出場した5年女子100m予選の結果は、後ろから2番目でした。自己ベストも出すことができませんでした。あつという間に終わってしまいました。私はこれまで、山形県の大大会ではずっと

と1位だったので、全国大会に出て、初めて「負ける」ということを経験しました。

実際、一緒に走ってみて、他の県の選手は、とても速く、私よりも練習量がとても多いことを実感しました。陸上競技にかける思いの強さも感じました。

私は、陸上競技の他に、空手もしていて、陸上の練習と空手の練習を両立するのは難しいけれど、陸上も空手もどちらも大好きなので、二刀流でできるように頑張りたいと思います。

全国大会での悔しさを忘れず、6年生になっても全国大会に行けるように、今以上に高い目標をめざして努力し続けたいと思います。



酒田市スポーツ少年団本部指導者研修会

「スポーツとの向き合い方」

ースポーツを通して身につける力ー

講師 池田 めぐみ氏
(一社)ヤマガタアスリートラボ 代表理事



▲講師の池田めぐみ氏

2月22日、令和6年度酒田市スポーツ少年団本部指導者研修会を開催しました。本講演は、スポーツ少年団指導者の指導力の向上を目的とし、講師として、オリンピックであるとともにヤマガタアスリートラボ代表理事の池田めぐみ氏をお招きし、スポーツを行う際のメンタルと効果的なエクササイズについて実演を交えながら、ご講演いただきました。主な講演内容は次の通りです。

■成長のきっかけ■

高校からフェンシングをはじめたため、周りとの埋まらない差に悩み、頭で考えてから体を動かさないと綺麗に剣を振ることができなかった。周囲の上手い人と比べて、センスがないと思い悩んでいたが、強くなるために1000ピースが必要なら、センス以外の999ピースを埋めれば強くなれるのではないかと考え始め、自身の体調、睡眠、食事などのデータを集め、自身を客観的に捉え実験を重ねていくうちに、自分にはないものばかりを探していた時よりも自分のことができることを見つける方が楽しく、世界が変わって見えるようになった。

■指導者との関係性■

高校での3年間は、顧問の先生から一度も怒られたことがなく、ミスした際や試合に負けた時には必ず「次はどうしたらいいと思う？」などの質問を投げかけてくれた。反省点を先生と話し合い、振り返る時間ができた。高校卒業後、大学生として入ったナショナルチームのコーチは、体罰が当たり前の指導で、それまでと比べて技を磨いていくことが好きだったフェンシングが、コーチのご機嫌伺いによって変わってしまった。

現在、大学生へマルチスポーツの指導をしているが、失敗した時「ごめん」などの謝罪の言葉を禁止し、前向きな言葉をかけるよう声掛けをしている。そうすることで、プレイが生き生きとしてくる。どの競技でもプロになる選手は、練習の一つ一つに疑問を持って楽しんで取り組んでいる。練習内容の意義や理由を子ども達に伝えるなど、子ども達が練習の目標設定や練習内容に納得してこそ、練習の伸び率が変わってくる。

■スポーツを通して身につけた力■

スポーツを通して身につけた力には人それぞれの答えがあると思うが、人と出会う力やコミュニケーション能力の向上が大きかったと振り返る。また指導者には「スポーツを通していろいろな人に出会えてよかった」、「スポーツを通して身につけた力が社会を生き抜くために必要なものだった」と思ってもらえるような指導をしてほしいと願う。

■効果的な準備運動(実践)■

フェンシングでいうと技を磨いて、いかに力強く速く体を使うかが重要だが、

その土台として関節の機能が正常に動くことが必要になる。練習がランニングから始まるが多々あると思うが、その前に関節を動かす準備ができていないかの確認が必要である。体験会では正常に関節が動いているかのチェック、関節をメインにした準備運動を実演・体験してもらう。

●研修会を振り返って

今回は参加型研修会として、指導者が実際に体を動かして学ぶ形式にしましたが、理論だけでなく実践的なスキルも身に付けることができたと思います。参加者からは、「準備運動の概念が刷新された」「体幹の大切さや骨格のポジションの重要性を理解できた」という感想が寄せられました。

今回学んだ研修内容が今後の子ども達を指導する場面において大いに役立つことを期待しています。



講師プロフィール

池田めぐみ (1979年8月1日生)
元フェンシング・女子エベ選手

【競技歴】

2003年～2005年 全日本フェンシング選手権大会
女子エベ個人優勝
2004年 アテネオリンピック エベ個人28位
2008年 北京オリンピック エベ個人15位
2010年 広州アジア大会 エベ団体優勝

【学歴】

1998年3月 山形県立米沢興譲館高等学校 卒業
2002年3月 東京女子体育大学 卒業
2006年3月 筑波大学大学院修士課程 修了

【現職・役職・活動等】

2021年～現在 公益財団法人山形県スポーツ協会
スポーツアドバイザー
2018年～現在 山形大学非常勤講師
2019年～現在 日本スポーツフェアネス推進機構理事
2021年～現在 南陽市教育委員会委員
2021年～現在 公益財団法人日本スポーツ協会理事
2022年～現在 一般社団法人ヤマガタアスリートラボ設立 代表理事
2023年～現在 スポーツ未来開拓会議(スポーツ庁×経産省) 委員

【山形県内の主な活動】

・第7次山形県教育振興計画検討委員会委員
・山形県スポーツ推進審議会委員

初開催

スポーツの楽しさを伝える

「酒田市スポーツ少年団体験会」

11月24日(日)にINPEX酒田アリーナ(国体記念体育館)で、市内のスポーツ少年団の活動を体験することができるイベント「スポーツ少年団体験会」を初めて開催しました。この体験会は、市教育委員会主催のスポーツ運動能力測定会と同日に行いました。

体験会ではスポーツ少年団のうち、サッカー、卓球、バレーボール、野球の4種目の体験ブースを設け、4歳から中学生までの子ども達が参加し、興味のあるスポーツに挑戦しました。

各ブースに指導者を配置し、基本的な技術を教えて、各種目の楽しさを伝えていました。

参加した子ども達からは、「いろいろな球技が体験できて楽しかった」「スポーツ少年団に入りたい」などの声が聞かれました。子ども達がスポーツの楽しさを知り、スポーツに挑戦するきっかけとなったようです。

来年度も引き続きスポーツ少年団体験会を開催できるよう準備を進めていきます。



▲キックターゲットを使ってのシュート体験



▲ティーバッティング体験



▲ラリー体験

酒田市・遊佐町スポーツ少年団交流大会

「スポーツで心一つ」

ニュースポーツにチャレンジ

2月22日(土)、「第51回酒田市・遊佐町スポーツ少年団交流大会」が開催されました。本大会には、本市から25名、遊佐町から6名の計31名の団員が参加し、未就学児から中学生まで幅広い年齢層の子ども達が集まりました。

昨年はインフルエンザ等の感染症が流行し、参加者が少ない状況でしたが、今年には多くの子ども達が元気に集まり、活気あふれる大会となりました。子ども達は、フロアカーリングとモルックの2種目で熱戦を繰り広げ、ニュースポーツを体験する貴重な機会となりました。

フロアカーリングでは、ターゲットに狙いを定め、チーム内で戦略を練りながらフロッカーを投げ、歓声を上げて楽し

む姿が印象的でした。一方、モルックでは、投げる力や精度が求められ、子ども達は真剣な表情でゲームに挑戦していました。

大会を通じて、参加者同士の交流も深まり、スポーツを通じた友情や絆が育まれました。今後もこのような交流大会を通じて、地域の子どものスポーツを楽しみながら成長できる場を提供していきたいと考えています。

最後に、本大会の成功にご協力いただいた遊佐町スポ少本部、両市町スポーツ推進委員会、参加団の指導者の皆様に心より感謝申し上げます。次回の大会も、多くの子ども達が参加し、更なる盛り上がりを見せることを期待しています。



令和6年度 事業報告

	事業名	期 日	会 場 ・ 参 加 者
大会	第52回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部サッカー大会	7月13日～14日	庄内空港緩衝緑地多目的広場 134名
	第52回 同 野球大会	7月14日～21日	松山多目的運動広場 他 180名
	第51回 同 バスケットボール大会	8月17日～18日	INPEX酒田アリーナ(国体記念体育館)315名
	第55回 同 卓球大会	8月24日	INPEX酒田アリーナ(国体記念体育館)69名
	第45回 同 バレーボール大会	8月25日	INPEX酒田アリーナ(国体記念体育館)128名
	第49回 同 剣道錬成大会	8月25日	INPEX酒田アリーナ(国体記念体育館)36名
	第32回山形県少年少女スポーツ交流大会 第51回酒田市・遊佐町スポーツ少年団交流大会	10月6日主会期 令和7年2月22日	県内各地 酒田市武道館 団員31名、指導者等10名程度
研修関係	第7回ジュニアスポーツフォーラム	6月16日	東京都ガーデンテラス紀尾井町(東京都)2名
	庄内地区協議会研修会	9月7日	庄内町 響ホール(小ホール)6名
	第60回山形県スポーツ少年大会兼ジュニアリーダースクール	7月27日～29日(中止)	最上地区 参加者なし
	第62回全国スポーツ少年大会 シニア・リーダースクール	7月27日～30日 8月8日～11日	秋田県 参加者なし 国立中央青少年交流の家(静岡県)参加者なし
講習会	スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会	9月～10月/eラーニング	【庄内コース】
	スタートコーチインストラクター再委嘱研修会 市スポーツ少年団本部指導者研修会	11月30日/グループワーク 10月6日 令和7年2月22日	グループワーク会場：酒田市公益研修センター 23名 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE(東京都)2名 ル・ポットフー 26名
表彰	指導者講習会・技術指導講習会	令和7年2月24日、12月8日 令和7年2月8日、10月27日	サッカー 15名、野球 37名 バスケットボール 27名、卓球 54名
	運動適正テストⅡ研修会	8月3日、11月10日 10月26日	バレーボール 177名、剣道 28名 INPEX酒田アリーナ(国体記念体育館) 団員23名、指導者等18名
その他	令和5年度酒田市スポーツ少年団本部表彰式 令和6年度酒田市スポーツ少年団本部優秀選手章表彰式 日本スポ少顕彰伝達式・県スポーツ少年団表彰式 県スポ少指導者・育成母集団研修会	4月21日 令和7年2月22日 11月17日	ル・ポットフー 優秀指導者章 5名 ル・ポットフー 優秀選手章 16名 最上地区 8名
	本部員会、常任委員・専門部会長会議、指導普及委員会 本部代議員会 庄内地区協議会理事会 庄内地区協議会代議員会	随時開催 4月21日 5月10日、令和7年2月21日 5月10日	ル・ポットフー 庄内総合支庁分庁舎 庄内総合支庁分庁舎
その他	スポーツ少年団体験会(スポーツ能力測定会と同日開催)	11月24日	INPEX酒田アリーナ(国体記念体育館)小アリーナ 延べ人数 412名(4専門部)

令和7年度 事業計画(案)

	事業名	期 日	会 場
大会	第53回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部サッカー大会	7月12日～13日	庄内空港緩衝緑地運動広場
	第53回 同 野球大会	7月19日～28日	松山多目的運動広場 他
	第52回 同 バスケットボール大会	8月23日～24日	INPEX酒田アリーナ
	第56回 同 卓球大会	8月30日	INPEX酒田アリーナ
	第46回 同 バレーボール大会	8月17日	INPEX酒田アリーナ
	第50回 同 剣道錬成大会	8月31日	INPEX酒田アリーナ
	第33回山形県少年少女スポーツ交流大会 第52回酒田・遊佐スポーツ少年団交流大会	10月6日主会期 令和8年2月	県内各地 未定
研修関係	第8回ジュニアスポーツフォーラム	6月中旬 11月15日	東京都 庄内地区(鶴岡市)
	庄内地区協議会研修会 ※山形県スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会と兼ねて開催	7月下旬～8月上旬	置賜地区
	第61回山形県スポーツ少年大会兼ジュニアリーダースクール	7月下旬～8月上旬	佐賀県
	第63回全国スポーツ少年大会 シニア・リーダースクール	8月上旬	未定
講習会	スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会	村上コース 未定 最上コース 未定 置賜コース 未定 庄内コース 12月6日	未定 未定 未定 酒田市公益研修センター
	スタートコーチインストラクター養成講習会 市スポ少本部指導者研修会	10月～11月 令和8年2月	未定 未定
表彰	指導者講習会・技術指導講習会	未定	INPEX酒田アリーナ
	運動適正テストⅡ研修会	10月	INPEX酒田アリーナ
その他	酒田市スポーツ少年団本部表彰式 酒田市スポーツ少年団本部優秀選手章表彰式 日本スポ少顕彰伝達式・県スポーツ少年団表彰式 県スポ少指導者・育成母集団研修会	4月20日 令和8年2月 11月15日もしくは11月16日	ル・ポットフー 未定 庄内地区(鶴岡市)
	本部員会、常任委員・専門部会長会議、指導普及委員会 本部代議員会 庄内地区協議会理事会 庄内地区協議会代議員会	随時開催 4月20日 5月9日、令和8年2月19日 5月9日	ル・ポットフー 庄内総合支庁分庁舎 庄内総合支庁分庁舎

令和6年度 酒田市スポーツ少年団本部登録団一覧表 (令和6年9月1日時点)

No	単位団名称	代議員名	団員	指導者等	No	単位団名称	代議員名	団員	指導者等
1	琢成・松陵・西荒瀬ミニバスケットボールスポーツ少年団	齋藤 浩二	23	2	40	宮野浦ミニバスケットボールスポーツ少年団	齊藤 伸	30	2
2	琢成剣道スポーツ少年団	佐藤いつ子	11	4	41	宮野浦バレーボールスポーツ少年団	小寺 由一	9	2
3	琢成卓球スポーツ少年団	加藤 弘良	4	2	42	宮野浦剣道スポーツ少年団	中津 治	3	2
4	浜田サッカースポーツ少年団	竹内 大	5	2	43	平田ミニバスケットボールスポーツ少年団	佐藤 宏明	6	2
5	浜田野球スポーツ少年団	工藤 睦久	12	7	44	ひらた卓球スポーツ少年団	庄司 学	9	2
6	浜田ミニバスケットボールスポーツ少年団	齋藤 華歩	12	2	45	鳥海バレーボールスポーツ少年団	白幡 春喜	13	2
7	富士見スポーツ少年団	鈴木 雄次	69	13	46	アテネ体操クラブスポーツ少年団	五十嵐直基	25	2
8	亀ヶ崎サッカースポーツ少年団	林賀 一郎	13	2	47	酒田ジュニアソフトテニススポーツ少年団	遠田 貞和	16	2
9	亀ヶ崎野球スポーツ少年団	村上 範昭	13	3	48	酒田Jr. K スポーツ少年団	大崎恵美子	24	3
10	亀ヶ崎ミニバスケットボールスポーツ少年団	新田 篤志	52	3	49	SRKジュニアクラブスポーツ少年団	富樫 隆夫	47	2
11	亀ヶ崎ミニバレーボールスポーツ少年団	蛭原 秀子	16	2	50	SRKキッズクラブスポーツ少年団	後藤 良	9	3
12	亀ヶ崎剣道スポーツ少年団	吉川 文彦	11	2	51	酒田宮野浦少林寺拳法スポーツ少年団	加藤 明男	7	2
13	亀ヶ崎卓球スポーツ少年団	木山 敏広	15	3	52	若浜卓球スポーツ少年団	渡邊 孝介	13	6
14	松原サッカースポーツ少年団	弦巻 岳	16	2	53	若浜サッカースポーツ少年団	渡會 徹	27	3
15	松原野球スポーツ少年団	後藤 亮	18	3	54	若浜ミニバスケットボールスポーツ少年団	宮田 崇志	34	2
16	松原ミニバスケットボールスポーツ少年団	菅原敬太郎	36	8	55	若浜バレーボールスポーツ少年団	武田 正祐	11	3
17	松原バレーボールスポーツ少年団	澁谷 和仁	22	2	56	酒田市柔道スポーツ少年団	新田 道隆	20	3
18	松原剣道スポーツ少年団	松田 美法	3	1	57	和鷲会スポーツ少年団	齊藤 等	17	2
19	松原卓球スポーツ少年団	滝澤 琢也	6	2	58	八幡JVCスポーツ少年団	後藤 信人	13	2
20	希望ヶ丘サッカークラブスポーツ少年団	松田 優作	26	2	59	一條サッカースポーツ少年団	富樫 浩明	22	2
21	泉野球スポーツ少年団	村上 太郎	18	2	60	八幡男子ミニバスケットボールスポーツ少年団	村上 智志	28	4
22	泉ミニバスケットボールスポーツ少年団	池田 郁雄	32	4	61	Y.I.Cミニバスケットボールスポーツ少年団	池田 公平	13	3
23	泉バレーボールスポーツ少年団	長谷川 司	11	3	62	酒田市空手道スポーツ少年団	佐藤 英俊	12	2
24	泉卓球スポーツ少年団	小笠原勝喜	8	4	63	松山サッカースポーツ少年団	石川 直紀	19	2
25	西荒瀬スポーツ少年団	綱淵 芳幸	1	3	64	松山ジャンプガールズミニバスケットボールスポーツ少年団	阿部 幸義	13	3
26	新堀ミニバスケットスポーツ少年団	齋藤 純	12	2	65	南平田卓球スポーツ少年団	石黒 昌弘	3	2
27	新堀野球スポーツ少年団	太田 雅人	4	2	66	平田ジュニアサッカークラブスポーツ少年団	後藤 学	15	4
28	新堀剣道スポーツ少年団	斎藤 裕喜	3	2	67	平田陸上教室スポーツ少年団	斉藤 淳	59	3
29	レンジャーズ野球スポーツ少年団	五十嵐 武	15	5	68	南平田ミニバスケットボールスポーツ少年団	菅谷 浩二	20	2
30	広野スポーツ少年団	上野 和司	20	6	69	庄内バレー道場スポーツ少年団	小野寺 昭	8	2
31	浜中スポーツ少年団	川村 広道	12	3	70	TSN・Dears スポーツ少年団	酒井 健司	20	4
32	十坂サッカースポーツ少年団	佐藤 大和	19	3	71	東部JBC野球スポーツ少年団	久保田 潔	14	4
33	十坂野球スポーツ少年団	佐藤 健	11	5	72	CJヤンキーススポーツ少年団	佐藤 宏明	21	6
34	十坂ミニバスケスポーツ少年団	佐藤 祐介	8	2	73	酒南ジュニア柔道クラブスポーツ少年団	安達 芳久	10	2
35	十坂バレーボールスポーツ少年団	加藤 裕介	8	4	74	陵成WESTスポーツ少年団	小松 孝二	15	2
36	十坂卓球スポーツ少年団	佐藤 隼	5	2	75	松陵JVCスポーツ少年団	堀 宏紀	14	4
37	十坂キッズスポーツ少年団	清水 和久	10	3	76	西荒瀬バドミントンクラブスポーツ少年団	金子 勉	14	0
38	宮野浦サッカースポーツ少年団	佐藤 淳一	25	2	合 計			1,271	226
39	宮野浦野球スポーツ少年団	五十場 忍	13	4					

令和6年度 スポーツ少年団主催大会種目別結果

種 目	大 会 名	期 日	会 場	結 果
サッカー	第52回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部サッカー大会	7月13日 ～14日	庄内空港緩衝緑地多目的広場	優勝：松原 2位：平田 3位：十坂
野 球	第52回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部野球大会	7月14日 ～21日	松山多目的運動広場他	優勝：松原 2位：遊佐 3位：CJY、浜黒TWINS
バスケットボール	第51回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部バスケットボール大会	8月17日 ～18日	INPEX酒田アリーナ（国体記念体育館）	男子優勝：新堀 2位：若浜 3位：八幡 女子優勝：松原 2位：Y U Z A 3位：浜田、宮野浦
卓 球	第55回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部卓球大会	8月24日	INPEX酒田アリーナ（国体記念体育館）	男子団体 優勝：泉 2位：南平田 3位：十坂、ひらた 女子団体 優勝：若浜 A 2位：ひらた 3位：遊佐、松原 ホープス男子 優勝：佐藤 光希（琢成） 女子・カブ男子 2位：高橋琉生斗（ひらた） 3位：池田 瑠生（十坂） カブ新人男子 優勝：高橋 大和（十坂） 2位：高橋 直汰（遊佐） カブ新人女子 優勝：進藤 百花（亀ヶ崎） 2位：大川 真空（琢成） 3位：芳賀 杏子（亀ヶ崎） 河西 白蓮（琢成）
バレーボール	第45回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部バレーボール大会	8月25日	INPEX酒田アリーナ（国体記念体育館）	女子優勝：松陵 2位：八幡 3位：泉、遊佐 混合優勝：亀ヶ崎 2位：宮野浦 3位：若浜
剣 道	第49回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部剣道錬成大会	8月25日	INPEX酒田アリーナ（国体記念体育館）	男子団体 優勝：川南 A 2位：遊佐町 A 3位：琢成、亀ヶ崎 A 女子団体 優勝：遊佐町 A 2位：遊佐町 B 3位：亀ヶ崎 個人戦男子5・6年生 優勝：鈴木 颯真（遊佐） 2位：佐藤 翔俐（遊佐） 3位：山本 直歩（亀ヶ崎）、今野 和真（亀ヶ崎） 個人戦女子5・6年生 優勝：高橋かなえ（遊佐） 2位：山家 奈桜（遊佐） 3位：阿部 真央（亀ヶ崎）、本間 愛野（遊佐） 個人戦男子4年生以下 優勝：佐藤 樹（遊佐） 2位：阿部 保恒（亀ヶ崎） 3位：富樫大志郎（琢成） 個人戦女子4年生以下 優勝：石垣 莉央（琢成） 2位：鈴木 那直（遊佐） 3位：村上 紗彩（亀ヶ崎）



▶受賞者代表謝辞
新田緑さん
（酒田市柔道スポーツ少年団）



【TSN・Dear'sスポ少】
岡部実、加藤武志
【ひらた卓球スポ少】庄司学
【広野スポ少】工藤海蔵
【浜中スポ少】佐藤篤士

◆受賞者（敬称略）
清水和久（十坂キッズスポ少）
○市スポーツ少年団本部優秀指導者章
令和6年度市スポーツ少年団本部表彰式を令和6年4月21日、ル・ポットフーで行いました。長年にわたり指導者として団員の健全育成と技術力向上、地域スポーツ活動の推進に貢献された功績を称え、次の方々に齋藤本部長が表彰状を贈呈しました。

◆受賞者（敬称略）
【陸上】元木楓花（SRKジュニアクラブスポ少）、高井花恋（平田陸上教室スポ少）
【体操】中山こころ、渡部颯（アテネ体操クラブスポ少）
【柔道】新田緑、松永拓真、庄司竣哉、中鉢貴泉、齋藤眺真、荒生大弥、阿蘇大空（酒田市柔道スポ少）
【卓球】土田大和（ひらた卓球スポ少）
【空手】高井花恋、菊池ディアナ、斉藤快、星川奏翔、高井瑛太（和鷲会スポ少）
○市スポーツ少年団本部優秀選手章
昨年度から始まった優秀選手章表彰式を令和7年2月22日、ル・ポットフーで行いました。県大会優勝など優秀な成績を取った団員16名に対し、齋藤本部長が記念メダルを贈呈しました。

令和6年度 各種表彰